



駅前新病院を実現する会

令和4年10月

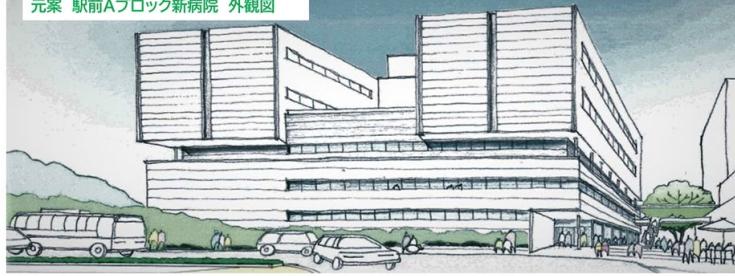
発行責任者

小島 敏子

新病院建設問題を市民本位で考え直そう!!



元案 駅前Aブロック新病院 外観図



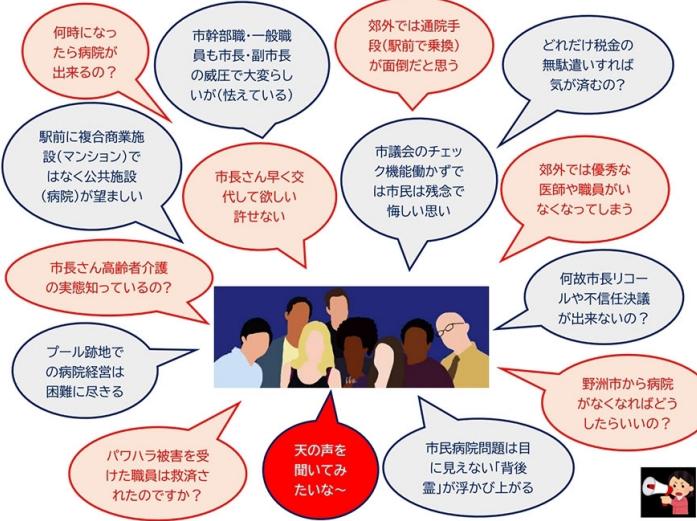
- ◆ 駅前病院は時代の潮流、他府県の郊外病院建設事例では通院・入院患者の利便性が悪く採算取れず赤字決算事例が多い
- ◆ 元案「駅前Aブロック新病院建設計画」は専門家や市民の英知が集約された未来型発想（確かな立案と審議・承認手続き）
- ◆ 現在市が進めている体育馆ブール跡地では「電磁波障害・軟骨地盤・中ノ池川氾濫リスク」などで危険性が指摘されている
- ◆ 総建設費用は元案「駅前Aブロック新病院建設計画」との比較では倍近く（200億？）に上るとも予想されています

2年間もの時間と市税の大判振舞いで建設場所を駅前からブール跡地に変更を繰り返した経緯を確認

今ならブール跡地が最終決定ではなく、市民の声を結集して新病院建設地を駅前に戻すことが可能です

- ◆ 梶木進氏は令和2年10月市選挙に立候補し、「Aブロック計画案は賛成で身の丈に合わない」と主張し、現行「市立野洲病院」の現地半額建替えを最大公約として訴え、市民の支持を得て市長に初当選（後日私案に化けた…市民は騙されたの？）
- ◆ 令和3年11月市長初登庁日に市が進めていた「駅前Aブロック新病院建設実施設計」を独断で一時ストップしてしまったその後、又もや独断で一時ストップ中の実施設計を解約、出来高払いとして4,256万円余りを病院事業会計から支払い、市民3名が5月7日に市の「監査委員会」に監査請求したが結果は棄却され、後日「住民訴訟」に移行し現在も係争中
- ◆ 令和3年5月17日市長は「駅前Bブロックでは細長くて狭く、新病院建設は無理だと思う」とメディアにコメントされたが…10日後の28日「駅前Bブロックを建設予定地にする」と駆明も無く方針を急遽180°方針変更した（市民に嘘をついていた）
- ◆ 令和3年9月3日市民団体「駅前新病院実現する会」から市長・市議会議長に対し、駅前Aブロックに新病院整備計画の早期実現を望む「市民の署名4,427人分を手渡されたが、市長は白々しい様子で重く受け止めていない印象であったらしい
- ◆ 令和3年1月18日議会改選の結果（創政会7人・新誠会5人・みらい野洲2人・公明党2人・暮らしと自治を考える会1人・共産党1人）と会派別議員構成が変わり、市長と党の創政会が最大会派になった（これで市長は全て思い通りに出来た？？）
- ◆ 令和3年12月23日市長はそれまで「Bブロックから変更しない」と確約していたが、「今のところはBブロック」と微妙な発言（この時点で建設地を自身の本音である郊外に実現する為、3度目の変更を前に示した？駅前土地売却が焦りからか？）
- ◆ 令和4年1月5日市長と党（創政会）奥山副会長以下市議6名が「Bブロックでの病院整備を断念するよう」要望書を提出
- ◆ 令和4年1月14日市長は議会全員協議会で「病院立地場所の選定について熟考したい」と述べて突然「凍結」を表明
- ◆ 令和4年3月9日市長は議場で市職員2名に上りし人前憚らず「ええかげんにせえよ」「以前もじゃなどと3件のパワハラ発言（お陰で市民は大恥かいた…市長はどんな人物？）➡第三委員会はパワハラに該当すると認定したが…反省は？？
- ◆ 令和4年5月18日市長は特別委員会で熟考を解き「駅前Bブロックでの整備を断念し、新たに市総合体育馆館ブール跡地で整備する」と舵を切った（コミセン7か所で市民懇談会）が開催されたが圧倒的に反対意見が際立ったが（市長派と対立）
- ◆ 令和4年8月12日市議会臨時会に於いて病院の設置条例改正案が可決された（Aブロック番地➡現行市立野洲病院の番地に変更…但し、施行日は市長判断で決められるが今日現在（10/18）未施行で改正条例を維持…意図は不詳？？）

新病院建設問題に対する市民・関係者からの声！！



現在市立野洲病院で働いておられる職員皆様のご意見もお聞きしたいのですが市の職員であり実現は叶いませんでした

今こそ市民が慎重に考えねばならない問題点は！！

- ① 市長が公言している「野洲医師会とか野洲市の開業医の賛同を得ている」というのは一部の個人開業医もしくは医療機関が市長案に賛同していると考えられるが、「守山・野洲医師会」さんは当初から「駅前に新病院建設を」で一貫しています。
- ② 梶木市長は駅前の南口A・Bブロックの売却が可能になった場合、売却先民間企業の提案を拒むことなく複合商業施設及び高層レジデンス（マンション）建設を認める意向を明確に示しています。更にCブロックに位置する文化ホール（市民の文化・芸術活動の拠点）まで取り壊し、A・Bブロックと同時に売却を目論んでいるようです。そうなれば一部の人達のみにだけ利益誘導されます。近隣の栗東市や草津市のように駅前がマンション群になれば、そこに住まいされる市民が利用されるインフラ（学校・公共施設等）新たな更に大きな投資が必要となります。
- ③ 市立総合体育馆館ブール跡地に新病院では利用者の利便性（付近に薬局や商業施設が全く無く、買い物や公共交通への訪問も遠くて不便極まりない）や通院アクセス（わざわざ駅前で交通機関の乗り換えなど）を考えると、通院患者や入院患者数が相当減少する予想され、結果として病院経営が行き詰まることが推測できます。そうなれば新病院は民間病院に譲渡される可能性が懸念されます。民間病院はタダでは受け入れません、もそのような事態になれば市には大きな損失が発生します。
- ④ 市長は「熟考」を解いた後、「一日でも早く病院建設を実現するためにご理解を願います」などと云っていますが、その言葉の裏には相当な「焦り」が見え隠れしています。今から「評価委員会 11月14日（月）開催予定」「市民懇談会 11月18日（金）シライシアター野洲・11月19日（土）さざなみホール開催予定」などで計画の「丁寧な説明」や「根拠」の周知は口先だけで、現実は短い時間（全ての集会はたった2時間）内今まで通り強引に11～12月講会を突破するのではと心配されます。尚、「守山・野洲医師会」や「市自治連合会」との合意形成を図る為の会合予定は何も発信されていません（スルーする？）

（本紙に係わるご意見・お問い合わせは ☎ 077-588-0582 ☎ 090-8197-4489 小島まで）

市民各位に於かれましては記述しました「問題点」について是非参考をお願いします！！